

会 議 録

会議名称	第4期幸区区民会議 第9回専門部会（みんなで見守りたい）
日時	平成25年9月25日（水）18時30分～20時10分
会場	幸区役所5階第3会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ●区民会議委員（50音順） 神谷美和委員、古場敏光委員（部会長）、酒井清委員、 鈴木都委員、原紀代子委員、檜林照江委員、春田公江委員、 村田清子委員（副部会長）、遊佐栄津子委員 ●事務局 幸区役所 福芝康祐副区長 まちづくり推進部企画課 今村健二課長、加藤剛史係長、早川智文担当 株式会社計画技術研究所 佐谷和江 ●関連課 地域保健福祉課 中谷明美課長、高齢・障害課 野口信久課長
欠席者	鈴木忠夫委員、戸張一吉委員
傍聴者	1名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ●議事次第 ●資料1 川崎市介護支援専門員連絡会 インタビュー調査結果 ●資料2 他地区における見守り活動事例 ●資料3 ひとり暮らし高齢者等に対する見守り活動の促進に向けたマニュアル作成のあり方（案） ●資料4 幸区内におけるひとり暮らし高齢者等を対象とした見守り活動事例 ●資料5 「第4期幸区区民会議」スケジュール（案）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 インタビュー等の実施結果について 2 ひとり暮らし高齢者等に対する見守り活動の促進に向けたマニュアル作成のあり方等について 3 今後のスケジュールについて 4 その他
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ●来年度以降、マニュアルを区で冊子化する際には、レイアウトの工夫やイラストの多用など、分かりやすさに重点を置いた検討を行っていくものとする。 ●今回の意見を事務局で整理して、次回部会で提言の案を示す。
会議の内容 及び 主な発言	<p>1 インタビュー等の実施結果について</p> <p>【主な意見・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ケアマネジャーの業務内容等について改めて確認することができた。マニュアル案に対しても意見が聞けてよかった。 ●インタビューを通じ、部会の取組も核心に迫ってきた気がした。マニュアルによる地域の見守りが実施されれば、素晴らしいことだという意見をもらった。 ●インタビューに参加した委員が闊達に意見交換をしていた。また、自分の

知らないことがわかったというのが大きかった。

●介護支援専門員とケアマネージャーは同じなのか？

→同じである。

●ケアマネージャーをやっているが、資料にある 2025 年に向けた地域包括ケアシステムについては、幸区でも動き始めている。地域包括支援センターが間に入って、民生委員とケアマネージャーの顔が見える関係作りを始めている。これに町内会がつながると、さらにネットワークとして広がっていくと思う。

●民生委員をやっている。地域包括支援センターと民生委員は情報交換をしているが、民生委員からの情報提供が多く、地域包括支援センターからの情報提供が少ない。

●身内に高齢者がいるが、ケアマネージャーとヘルパーには会ったことがあるが、民生委員には会ったことがない。

→民生委員は毎年、75 才以上の一人暮らし高齢者等を訪問調査しているが、介護サービスを受けている人は対象外となっている。それで民生委員に会わないのではないか。

●ケアマネージャーと民生委員がつながりにくいのは、個人情報保護の関係があるから。本人の承諾がないと、ケアマネージャーも民生委員とつながれない。

2 ひとり暮らし高齢者等に対する見守り活動の促進に向けたマニュアル作成のあり方等について

●これはマニュアルの骨子なのか、最終版なのか。

→マニュアルの記載内容のイメージを記したもので、最終版ではない。

●Q&Aやイラストを多用するとわかりやすくなると思う。「見守りQ&A」のような形式がいいのではないか。また、「電話する」と書いた場合は、電話番号を書くなどするとわかりやすいと思う。

→来年度以降、区で冊子化する時に、その辺りのことを検討していきたい。

●チェックリストの内容はどうか。事務局で検討した結果、「連絡・相談窓口」から民生委員を外している。

→高齢・障害課に連絡があった場合、民生委員に連絡がある。また、介護保健サービスを受けていたらケアマネージャーに連絡があるので、表記としては、高齢・障害課と地域包括支援センターでよい。

●「～等」という表現があるが、そこがわからないからマニュアルが必要なのではないか。高齢者でも容易に理解できるよう、分かりやすく表記したマニュアルができるといい。

→このマニュアルは「見守る側」が活用することを想定しているので、必ずしも高齢者だけが見るものではないが、誰もがわかりやすい内容とするのは大変重要な点だと認識している。

●これからは特にマンションでの見守りが問題になってくる。管理人でも居

住している高齢者のことがわかっていないこともある。

●チェックリストはわかりやすくていい。

●このマニュアルができたら、どこに配布していくのか？

→個人的には全戸に配布したいと思っている。これまで見守りに関わって
いなかった人々の中に、「見守りの心の芽」を育ててもらうのがこのマニ
ュアルの狙いだと思っている。全戸に配布することは決意表明にもなる。

●見守りに参加したい人はどうすればいいか。

→このマニュアルは、個人単位での見守り活動を想定しているので、特に登
録等は必要としていないものである。

●啓発グッズとして、「見守りたいバッチ」のようなものができるとよい。

●若い人に参加してほしい。

→あいさつ等を通じて、若い人と接点を作っていけるとよい。

→若い人にとって町内会は敷居が高いので、ボランティア組織の情報がマニ
ュアル等に掲載されていると、参加への端緒となるのではないか。

→将来的にはスマホのアプリから連絡できたり、情報を得たりできるとよ
い。

●本日出た意見を事務局の方で整理して、次回部会で提言の案を示したいと
考えている。

3 今後のスケジュールについて

●地域包括支援センターのインタビューは10月8日（火）に開催。

●次回部会は10月30日（水）に開催。

以上